# **MEMORY STRUCTURE**

Patent Number:

JP1117580

Publication date:

1989-05-10

Inventor(s):

WATABE HIROYUKI

Applicant(s)::

OLYMPUS OPTICAL CO LTD

Requested Patent:

F JP1117580

Application Number: JP19870275447 19871030

Priority Number(s):

IPC Classification:

H04N5/907; G03B17/18; G06K19/00

EC Classification:

Equivalents:

JP2683349B2

## **Abstract**

PURPOSE:To confirm the residual amount of a storage area not stored directly externally or a storage state even when the memory is not loaded to the device main body by providing a display means to display the final storage address of the newest storage information written in its own storage section. CONSTITUTION: When a card memory 3 is removed from an electronic still camera main body 1. power is supplied from a built-in battery E via a resistor R4 to a main memory 30, an address counter 41 and an address memory 42. When it is required to confirm visually the final write number, a switch 40 is turned on. Then the final address storage information stored in the address memory 42 is subject to access control by an access controller 43 and read. The final address storage information to be read is decoded and converted into a decimal number by the decoder 44 and displayed on an LED display device 45.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

# ⑩日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

#### ⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 平1-117580

@Int\_Cl\_4

識別記号

到特

庁内整理番号

③公開 平成1年(1989)5月10日

H 04 N 5/907 G 03 B G 06 K 17/18 19/00

B-6957-5C Z-6920-2H

J -6711-5B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

図発明の名称

メモリ横体

頤 昭62-275447

22出 昭62(1987)10月30日 願

ぴ発 明 者 渡 洋 之 東京都渋谷区幡ケ谷2丁目43番2号 オリンパス光学工業

株式会社内

オリンパス光学工業株 PΗ 仍出

東京都渋谷区幅ケ谷2丁目43番2号

式会社

弁理士 坪 井 沙代 理 人 淳 外2名

詽

1. 発明の名称

メモリ捞体

# 2. 特許静水の範囲

自己の記憶部に書込まれた最新被記憶情報の 最終格納アドレスを表示するための表示手段を領 えてなることを特徴とするメモリ損体。

## 3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は、例えば電子スチルカメラ等の被記憶 情報(例えば画像情報)に対応する信号(例えば ビデオ信号)を生成する装置本体に対して着脱自 在に装填され、当該被記憶情報を自己の記憶エリ ア内に記憶可能であって、特に所謂カードメモリ ぞの固体メモリ装置として具現されることにより 顕著な特徴を発揮するメモリ構体に関する。

[従来の技術]

近年、種々の彼記憶情報をディジタルデータの 態様で自己の記憶エリア内に記憶する所謂電子メ モリカードのようなメモリ構体の開発が遊良して

いる。この種のメモリ横体では、通常外部から渡 後的に記憶内容を視認することが困難である点で、 使用上不便を生じることがある。この点を改善す べく、当該端末袋置等に袋填されたときに、自己 の表示部に記憶内容が表示され得るようになされ た電子メモリカードが既に提案されている(例え ば、特開昭58-159194号公報)。

一方、電子スチルカメラのような画像情報を生 成する装置や、その他の被記憶情報たるデータを 生成乃至は加工するシステム本体に、上述したメ モリ 帯体を適用して情報の記憶 (記録) を行なう ようにした技術も進められている。この場合も当 然のことながらメモリ損体内の記憶エリアにおけ る既記録状況あるいは残り容量を確認したいとい う要望がある。

[発明が解決しようとする問題点]

上記後者の場合において用いられるメモリ操体 においては、装置本体に装填した状態においては 勿論、装填しない状態においても当該メモリ構体 内の記憶エリアにおける既記録状況あるいは残り

容量等を、視覚的に確認できると大変便利である。 しかしながら従来の電子メモリカードにはそのよ うな技術的手段は勝じておらず使用上の便益に欠 けるという問題があった。

本発明はこのような事情を考慮して為されたものであり、その目的とするところは、袋屋本体に袋切しない状況でも既配位状況あるいは未記じエリアの残量等を、外部から直接視認可能で記憶容量の使い残しによる無駄を無くし得、利用効率を高め得る上、使用上の便益性を飛躍的に向上し得るメモリ損体を提供することにある。

### [問題点を解決する為の手段]

本発明は上記問題点を解決し目的を達成するために次のような手段を脚じた。即ち、自己の記憶部に普込まれた最新被記憶情報の最終格納アドレスを表示するための表示手段を備えるようにした。
[作用]

このような手段を講じたことにより、次のような作用を呈する。自己の記憶部に書込まれた最新 被記憶情報の最終的に格納されたアドレスが、表

ムの短いスタティックRAMを主体として構成されている。矩形状をなすカードメモリ 8 の一側録に立つな子スチルカメラ本体1 に該項した原、同本体1 から電源 V c c、データ信号 (D0 乃至 D7)、アドレス信号 (A0 乃至 A14)等を入力するための端子11、12、18を介えた端子群10が設けられている。またカードメモリ 3 の内部には上記端子群10と電気的な接続が図られた磁源部20、メインメモリ 30と共に、前記表示手段4 が設けられている。

電源部20は、ON-OFF 割御用のNPN形トランジスタQ1 、スイッチッング用PN形トランジスタQ2 、内蔵電池E、コンデンサC、低低電池E、コンデンサC、低低電池E、コンデンサC、低低電池 を介して充放電源部20は電子に放電がある。かくしてこの電源部20は電子にはルカメラ本体1 から電源 Vcc の供給を受けた、スタスをはトランジスタQ2 を介してメインメモリ80、表示手段4の一部に電力を供給するも

示手段により表示されるので、たとえ装置本体に 装切されない状態であってもメモリ構体の記憶部 における既記憶状況または未記憶エリア(残り容 益)を視覚的に直接確認することが可能となる。

#### [突放例]

第2図は上記カードメモリ 8 の具体的構成を示す図である。このカードメモリ 8 はアクセスタイ

のとなっている。また電子スチルカメラ本体1から電源 V c c の供給を受けない時には、すなわちカードメモリ3を電子スチルカメラ本体1から取り外したときには、内蔵電池Eからメインメモリ30および表示手段4に対して電力を供給するものとなっている。

自己の記憶部としてのメインメモリ 30は、前記電源 V c c または内蔵電池 E の電力供給を受けて動作し、電子スチルカメラ本体 1 からの画像情報すなわち前記データ信号 D 0 ~ D 7 とアドレス信号 A 0 ~ A 14を入力して特定の記憶領域に画像データを格納するものとなっている。

表示手段4 は抑釦スイッチ40、アドレスカウンタ41、アドレスメモリ42、アクセスコントローラ43、デコーグ44、LED表示器45等で構成されている。アドレスカウンタ41は電子スチルカメラ本体1 からアドレス信号(A0乃至A14)を入力し、メインメモリ30に告込まれた最新の被記憶情報の最終格納アドレスをカウントするものとなっている。アドレスメモリ42は前記アドレスカウンタ41

のアドレスカウント値(最後の番地)を記憶領域に格納するものとなっている。アクセスコントローラ 48はアドレスメモリ 42をアクセス制御し、アドレスメモリ 42に格納されている 最終格納アドレス情報を読出してデコーダ 44に出力させるものとなっている。デコーダ 44は 2 進ディジタル信号からなる前記最終格納アドレス記憶情報を 1 0 進数に解読変換してLED表示器 45に出力するものとなっている。

外されると、電子スチルカメラ本体」からの電豚 Vccが断たれるので、トランジスタQ1. Q2 はともにOFF状態となる。そうすると、それま で充電状態にあった内蔵電池Eから、抵抗R4を 介してメインメモリ 80、アドレスカウンタ 41、ア ドレスメモリ42に窓力が供給される。ここで書込 み最終枚数を規范的に確認する必要が生じたとき には、スイッチ40をオンにする。そうすると、 前 記内蔵電池 E.から抵抗R4、スイッチ40を介して アクセスコントローラ43、デコーダ44、LED表 示器 45に電力が供給される。このためアドレスメ モリ 42に格納されている最終アドレス配低情報は、 アクセスコントローラ 43によりアクセス 制御され て読出される。統出された最終アドレス記憶情 報はデコーダ44より10進数に解統変換されて LED表示器 45により表示される。なお前述した ようにアドレスメモリ 42に 最終アドレス (最後の 恐地) BOD が審込まれている場合には、LED表 示器 45には 8 が表示される。従って、画像フレー ム10枚中の6枚が既に番込まれ、未記憶エリアす

け、充電状態となる。

この状態において、電子 A 14) および A 0 乃至 A 14) および A 0 乃至 A 14) および A 力力 C 不 で B D 0 ~ D 1 がメインメモリ 30 に A ア ド レ ス を で B D 1 が ス イ ン メ モ リ 30 に A ア ド レ ス を で B D 1 が A 2 で B D 1 で B D 2

次にこのカードメモリ3を電子スチルカメラ本体1から取外し、上述した否込み面像枚数を視覚的に確認する場合の作用について説明する。先ずカードメモリ3が電子スチルカメラ本体1から取

なわち残り 画像フレーム枚数はも枚であることが カードメモリ単体の状態で視覚的に確認すること ができる。

このように本実施例によれば、最後に書込まれた最新被記憶情報のアドレスがアドレスカウンタ41で検知され、アドレスメモリ42に記憶情報として書込まれる。そしてカードメモリ 8 を電子スチルカメラ本体1 から取り外した状態においてスイッチ40を O N 動作すると、アクセスコントローラ48によりアドレスメモリ42がアクセス制御され、前記アドレスメモリ42に格納されている最終アドレス記憶情報が統出され、デコーダ44により解読されてLED表示器45により表示される。

従って、カードメモリ3の記憶部すなわちメインメモリ30における既記憶枚数すなわち画像フレーム枚数乃至未記憶枚数(疑り容量)を、視覚的に確認することができる。このため記憶容量の使い残しによる無駄をなくし、カードメモリ3の利用効率を高め得る。また電子スチルカメラ本体1に袋填されない状態で上記確認を随時行えるので、

## 特開平1-117580 (4)

使用上の便益性が飛翔的に向上する。

## 【発明の効果】

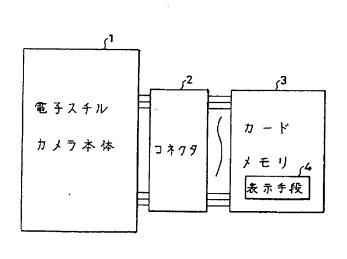
本発明によれば、自己の記憶部に書込まれた最新の被記憶情報の最終格納フドレスを表示するための表示手段を備えるようにしたので、装置本体に装填しない状態でも既記憶状況あるいは未記憶エリアの残量等を、外部から直接視認することができる。このように実用上多大なる効果を奏するメモリ俳体を提供することができる。

## 4. 図面の簡単な説明。

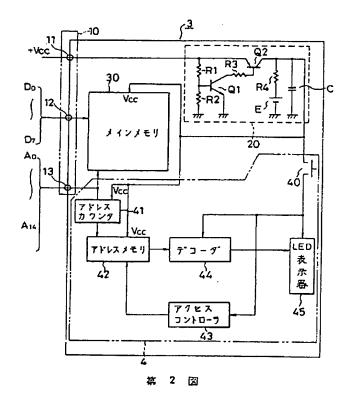
第1 図は本発明を電子スチルカメラに適用した一実施例の概要を示す図で、第2 図は問実施例のカードメモリ3 の具体的構成を示す図である。

1 … 毯子スチルカメラ本体、2 … コネクタ、3 … カードメモリ、4 … 表示手段、10… 端子群、20… 進顔部、80…メインメモリ、40… 押釦スイッチ、41… アドレスカウンタ、42… アドレスメモリ、43… アクセスコントローラ、44… デコーダ、45… L E D 表示器。

出願人代理人 弁理士 坪井 淳



第 1 図



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載 【部門区分】第7部門第3区分 【発行日】平成7年(1995)12月22日

【公開番号】特開平1-117580 [公開日] 平成1年(1989)5月10日 [年通号数]公開特許公報1-1176 [出願番号]特顧昭62-275447 [国際特許分類第6版]

HO4N 5/907

B 7734-5C

GO6K 19/07

[FI]

GO6K 19/00

J 9458-5L

### 手統補正書

平成6年10月31日

特許庁長官 高島 章 設

1. 専件の表示 昭和62年特許顧斯275447号

2. 発明の名称 メモリ構体

3. 補正をする者

平件との略像 特許出顧人 〒 151 東京都設谷区標ヶ谷2丁目43番2号 ( 131) オリンパス光学工業株式会社 代表者 岸本正 鼻

4. 補正命令の日付 (自 発)

5. 補正により増加する発明の数 なし

8. 補正の対象 明和音

7. 補正の内容 別紙の通り (1) 明細書の特許請求の範囲を別紙の通り補正する。

(2) 明知吉、第8頁、第14行~第16行の「即ち、自己の~編えるようにした。」も、

「即ち、被配信情報たる割像データを順次所定のアドレスが割り当てられた領域に格納し得るようになされたメモリ機体(3)であって、最新被配信情報のデータが既に格納された最終格納アドレスが審合込まれ保持されるようになされた最終格納アドレス保持手段(41.42)と、この最終格納アドレス保持手段に保持されたアドレス健を放アドレス健に相応する画像の枚数値に変捜するためのデコード手段(44)と、このデコード手段による変換値を表示するための表示手段(45)と、この表示手段を動作させるため本メモリ構体内に設けられた電源手段(20)と、当該操作に応動してこの電源手段から上記表示手段に対して特電し表示動作をきせるためのスイッチ手段(40)と、を横えるようにした。」

と訂正する。

(3) 岡書、第3頁、第19行の「自己の配位部に書込まれた」を、 「自己の最終格納アドレス保持手段に保持された」

と訂正する。

(4) 同答、第3页、末行の「最終的に格納されたアドレスが、」を、 「最終的に最終格納アドレス保持手段に保持されたアドレス値に相応する関係 の枚数が、」

と们正する。

### 特許請求の範囲

も記憶情報たる衝象データを頂次所定のアドレスが割り当てられた領域に格納 し得るようになされたメモリ標体であって、最新社配位情報のデータが民に格納 された最終格納アドレスが書き込まれ保持されるようになされた最終格納アドレス保持手段と、この最終格納アドレス保持手段に保持されたアドレス健を数アドレス保に組成する固分の枚数値に変換するためのデコード手段と、このデコード 手段による整換値を表示するための表示手段と、この表示手段を動作させるため 本メモリ機体内に設けられた電源手段と、当数操作に更動してこの電源手段から上記表示手段に対して給電し表示動作をきせるためのスイッチ手段と、を備えて なることを特徴とするメモリ構体。